



MARUHA NICHIRO

2011年3月期 第3四半期連結決算概況

株式会社マルハニチロホールディングス

1. 連結損益計算書



(単位:億円)

	2010年12月期		増減	年間計画	進捗率
	実績	前年同期			
売上高	6,403	6,382	21	8,500	75%
売上原価	5,511	5,534	△ 23		
売上総利益	892	848	44		
販売費・一般管理費	722	739	△ 17		
営業利益	170	110	61	180	94%
営業外収益	23	27	△ 4		
営業外費用	44	50	△ 6		
経常利益	150	86	64	140	107%
特別利益	8	15	△ 7		
特別損失	37	15	22		
税金等調整前当期純利益	121	86	35	96	126%
法人税等	44	36	8		
少数株主利益	7	7	0		
四半期純利益	70	43	27	45	156%

主に水産物市況が概ね堅調に推移したことにより水産事業の収支が大幅に改善され、売上高は前期比21億円の増収、営業利益は前期比61億円の増益、経常利益も前期比64億円の増益、四半期純利益は貸倒引当金繰入額等が発生するも前期比27億円の増益。

2. 連結貸借対照表



(単位: 億円)

	10年12月末	10年3月末	増減		10年12月末	10年3月末	増減
流動資産	2,849	2,520	329	負債 (うち有利子負債)	4,450 3,221	4,219 3,147	231 74
固定資産	2,372	2,494	△ 122	純資産	771	794	△ 23
資産合計	5,221	5,014	207	負債純資産合計	5,221	5,014	207

資産は売上債権の増加などにより207億円の増加、負債は仕入債務の増加や借入金の増加などにより231億円増加。純資産は第二種優先株式の消却などにより23億円減少。

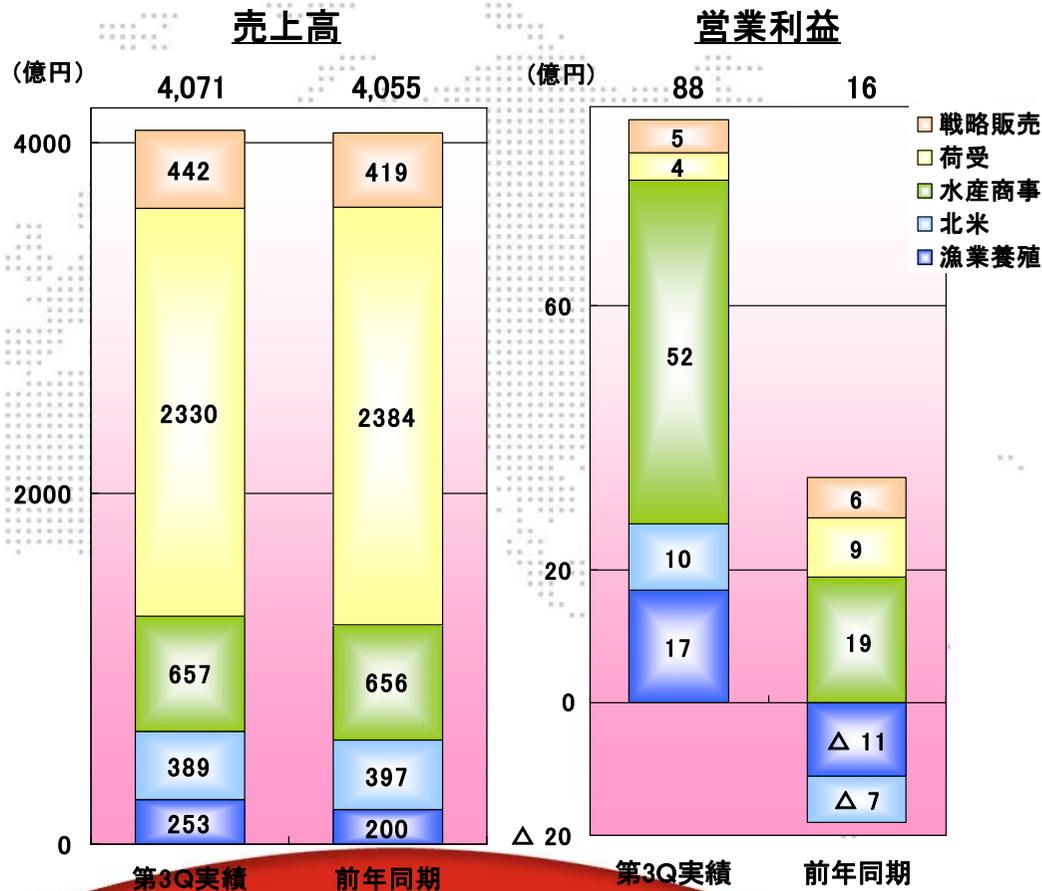
3. ユニット別実績



(単位:億円)

	2010年12月期									
	売上高					営業利益				
	実績	前年同期	増減	年間計画	進捗率	実績	前年同期	増減	年間計画	進捗率
漁業・養殖ユニット	253	200	53	336	75%	17	△11	28	10	-
北米ユニット	389	397	△8	488	80%	10	△7	17	8	125%
水産商事ユニット	657	656	1	843	78%	52	19	33	27	193%
荷受ユニット	2,330	2,384	△54	3,129	74%	4	9	△5	12	33%
戦略販売ユニット	442	419	23	537	82%	5	6	△1	5	100%
水産セグメント計	4,071	4,055	16	5,333	76%	88	16	72	62	142%
冷凍食品ユニット	893	894	△1	1,190	75%	39	52	△13	52	75%
加工食品ユニット	595	614	△19	817	73%	28	32	△5	43	65%
畜産ユニット	352	316	36	473	74%	12	△0	12	12	100%
化成品ユニット	104	102	2	131	79%	10	11	△0	11	91%
アジア・オセアニアユニット	206	196	10	281	73%	6	14	△8	15	40%
食品セグメント計	2,150	2,123	27	2,892	74%	95	109	△13	133	71%
保管・物流セグメント計	109	117	△8	152	72%	7	12	△5	16	44%
その他セグメント計	74	87	△13	123	60%	8	2	6	10	80%
全社セグメント計						△27	△28	1	△41	66%
合計	6,403	6,382	21	8,500	75%	170	110	61	180	94%

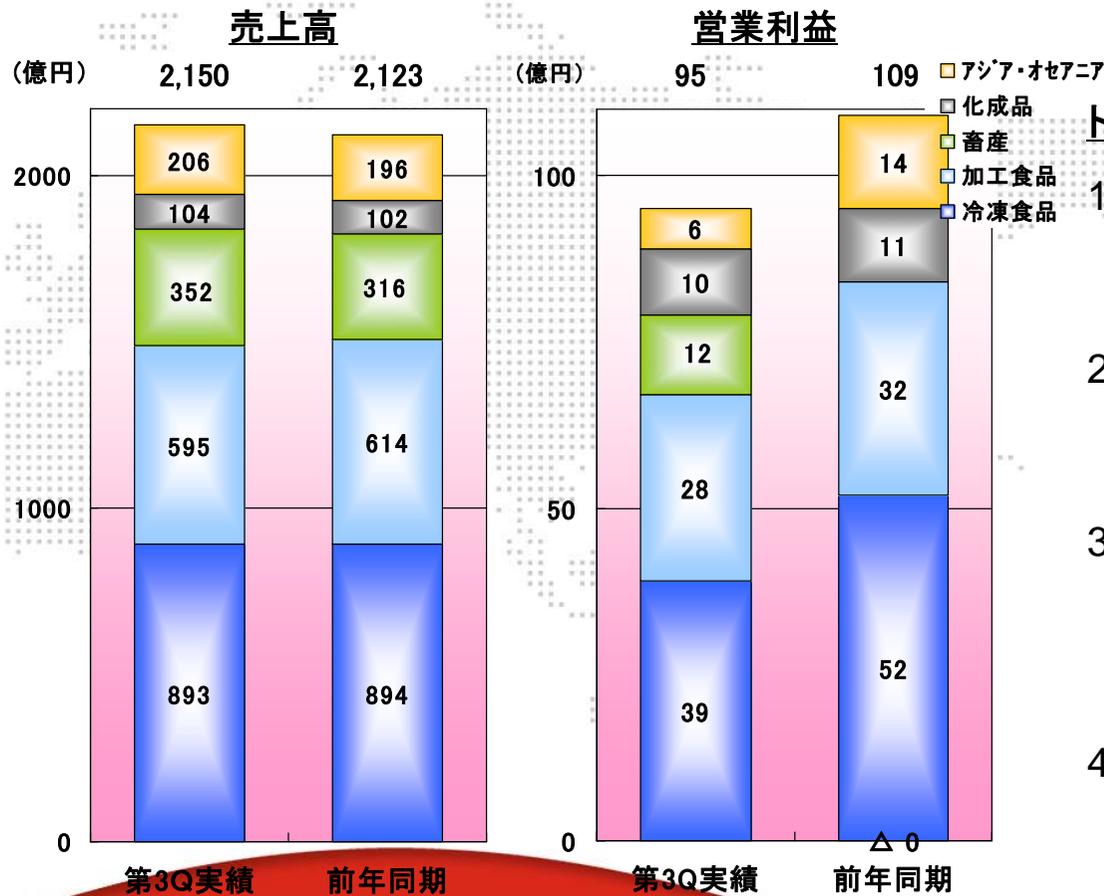
3-1. 水産セグメント



トピックス

1. 漁業養殖はクロマグロやカンパチなど国内養殖魚の出荷増や市況改善で増収増益。
2. 水産商事は主要魚種の市況が堅調に推移したことなどにより増収増益。
3. 北米事業はスケソウダラの漁獲枠減による供給減も国内すりみ市況の堅調で減収増益。
4. 荷受事業は取扱数量減少や浜値上昇による仕入コストの増加で減収減益。

3-2. 食品セグメント



トピックス

1. 冷凍食品は原料高騰や販促費の増加により減収減益。
2. 加工食品は缶詰原料の高騰や高単価商品の販売不振により減収減益。
3. 畜産は輸入ポークの取扱数量増加や輸入鶏肉の棚卸評価損の解消で増収増益。
4. アジア・オセアニア事業では、エビやツナの原料高で増収減益。

当資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点で入手できる情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は様々な重要要素により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。また、本資料は著作権やその他本書類にかかる一切の権利は株式会社マルハニチロホールディングスに属します。